

付属資料12：世界

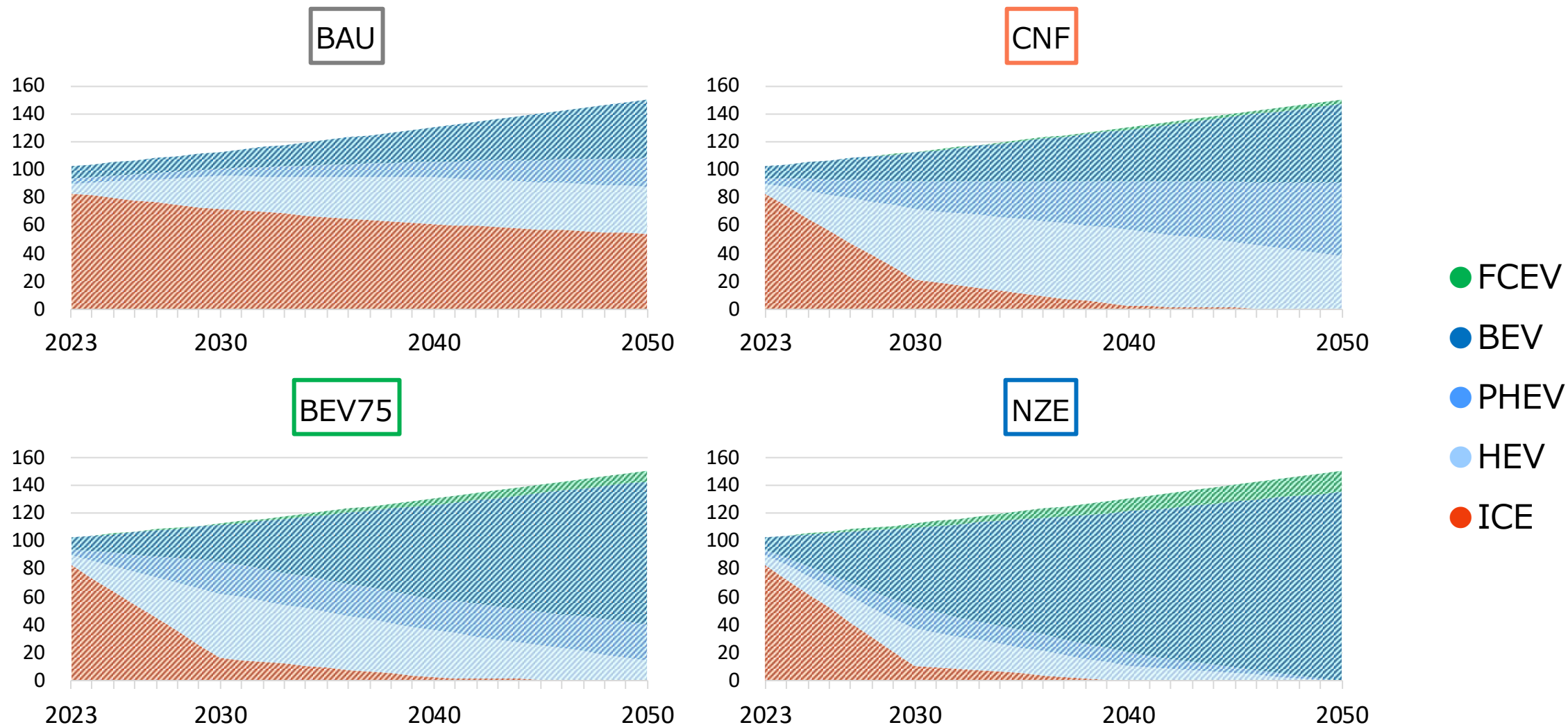
世界の特徴@2050年

シナリオ名	特徴		2020年比CO ₂ 排出量
全シナリオ共通	市場動向	・ 四輪は新車販売・保有台数ともに大幅増、二輪は緩やかな増加	
	電源構成	・ クリーンエネルギー+CCS比率は87%	
CNF	電動車の普及	・ 新車販売構成は、乗用車でBEV・FCEVが47%となることを含め、電動化シェアが四輪で97%、二輪で80% ・ 保有構成はBEV・FCEVシェアが四輪で35%、二輪で74%	70%減
	燃料構成	・ CN燃料(合成燃料・バイオ燃料)+電力+水素で71% ・ CN燃料は2023年時点の液体燃料の30%	
BEV75	電動車の普及	・ 新車販売構成は四輪でBEV・FCEVシェアが77%、二輪で88% ・ 保有構成はBEV・FCEV シェアが四輪で59%、二輪で81%	76%減
	燃料構成	・ CN燃料+電力+水素で80% ・ CN燃料は2023年時点の液体燃料の22%	
NZE	電動車の普及	・ 新車販売構成は全車種でBEV・FCEVシェアが100% ・ 保有構成はBEV・FCEVシェアが四輪で86%、二輪で100%	79%減
	燃料構成	・ バイオ燃料+電力+水素で82% (合成燃料は0想定) ・ バイオ燃料は2023年時点の液体燃料の4%	

CO₂排出量は2020年比で70%～79%減
(世界全体の2050年予測において、いずれの想定シナリオでもIPCCの1.5℃シナリオに沿った削減が可能)

世界の新車販売構成（乗用車）

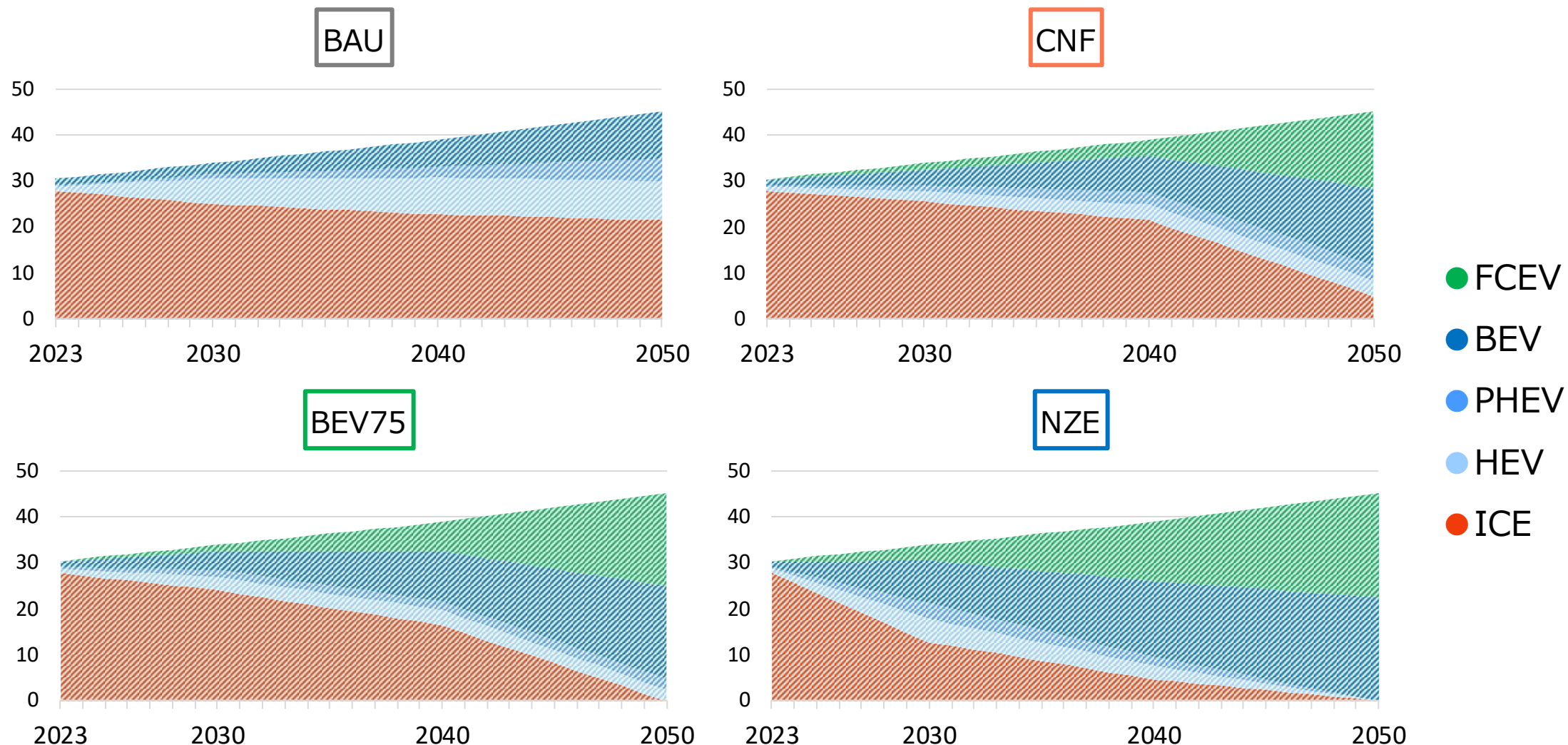
（単位：百万台）



* 実績値はEDMC推計、将来値は新車販売台数の合計はEDMC推計、パワートレインの構成は自工会のシナリオを基にEDMC推計

世界の新車販売構成（トラック・バス）

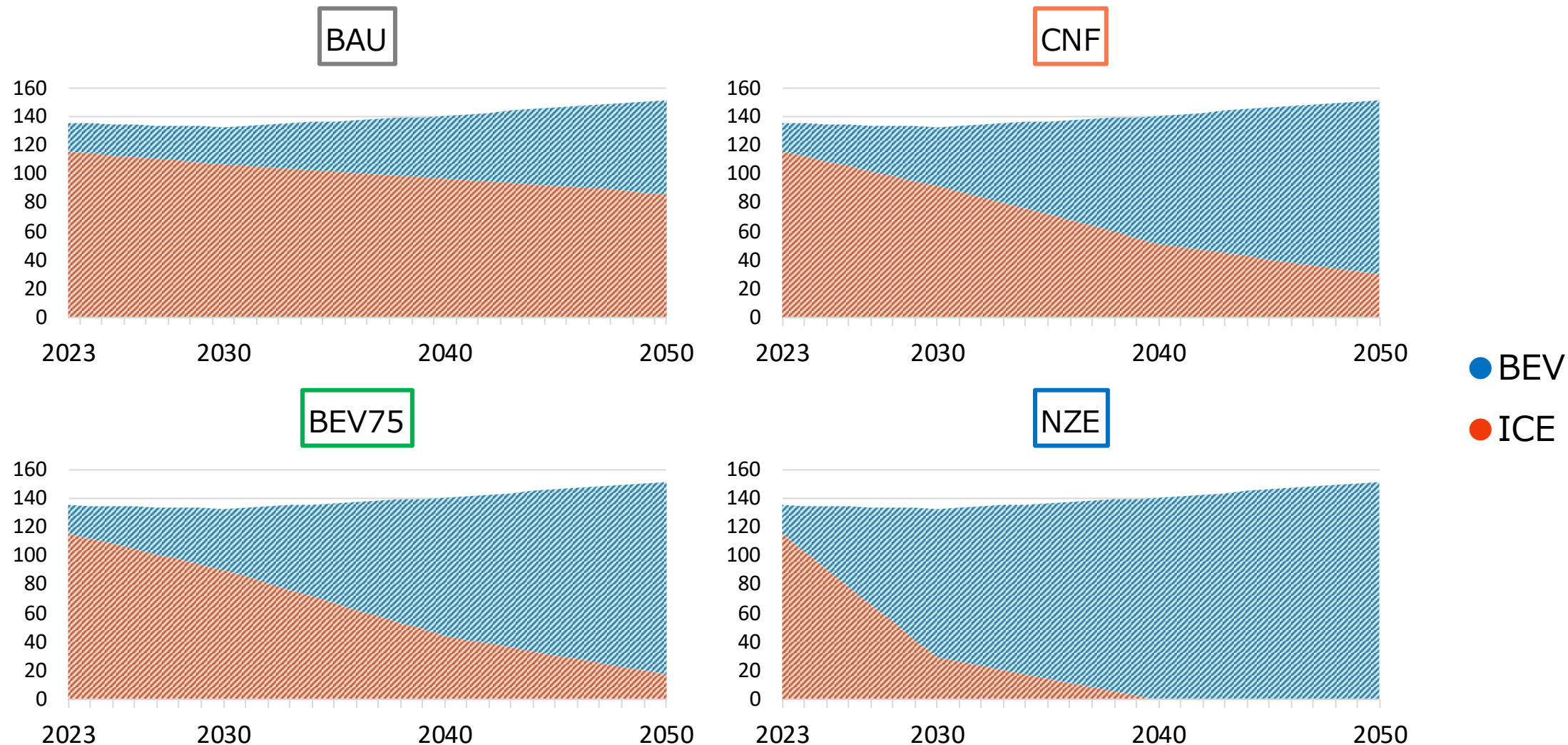
（単位：百万台）



* 実績値はEDMC推計、将来値は新車販売台数の合計はEDMC推計、パワートレインの構成は自工会のシナリオを基にEDMC推計

世界の新車販売構成（二輪車）

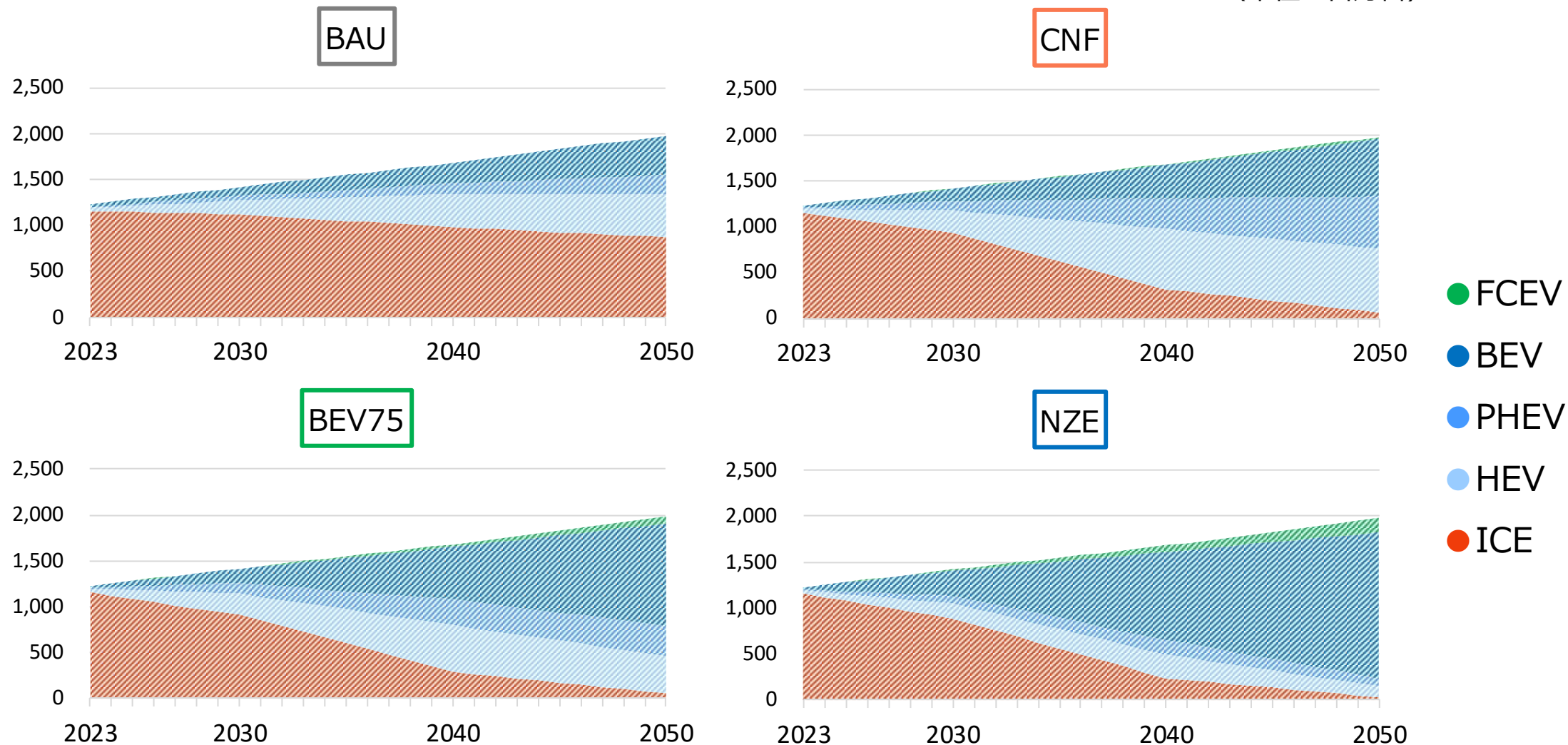
（単位：百万台）



* 実績値はEDMC推計、将来値は新車販売台数の合計はEDMC推計、パワートレインの構成は自工会のシナリオを基にEDMC推計

世界の保有構成（乗用車）

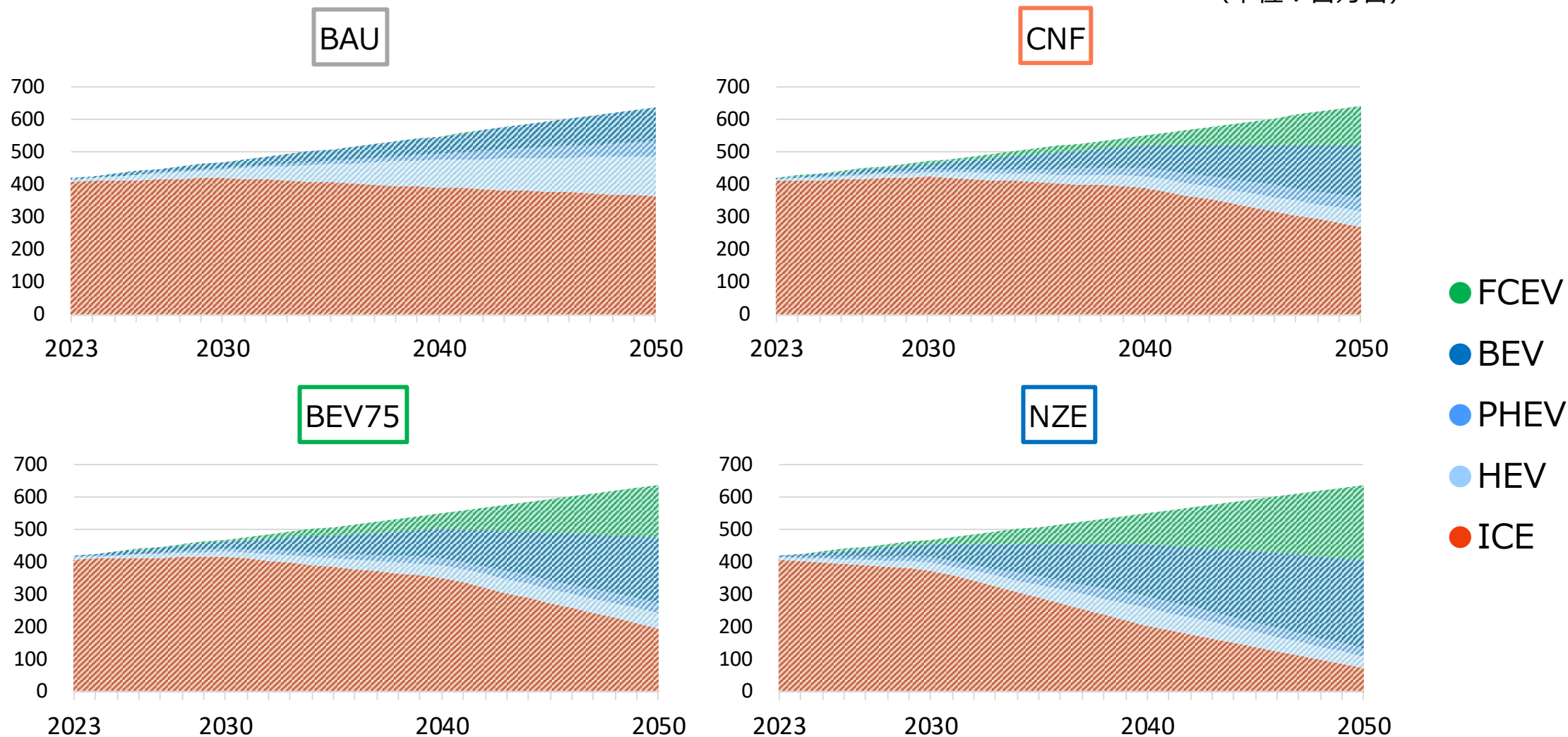
（単位：百万台）



* 実績値はEDMC/エネルギー・経済統計要覧2026年版を参照（前回分析(2022年版)はEDMC/エネルギー・経済統計要覧2022年版を参照）
将来値は、保有台数の合計は「[IEEJ Outlook 2026](#)」(2025年発表)、パワートレインの構成は自工会のシナリオを基に推計

世界の保有構成（トラック・バス）

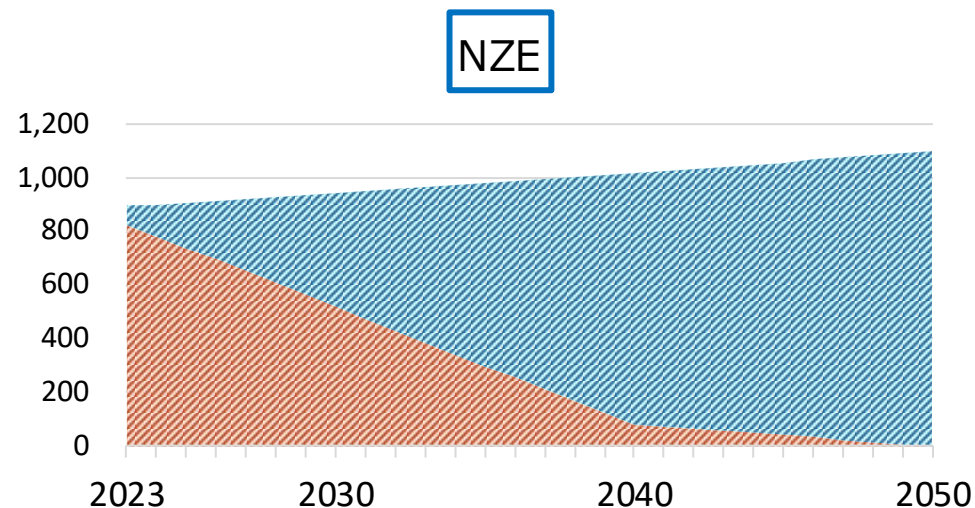
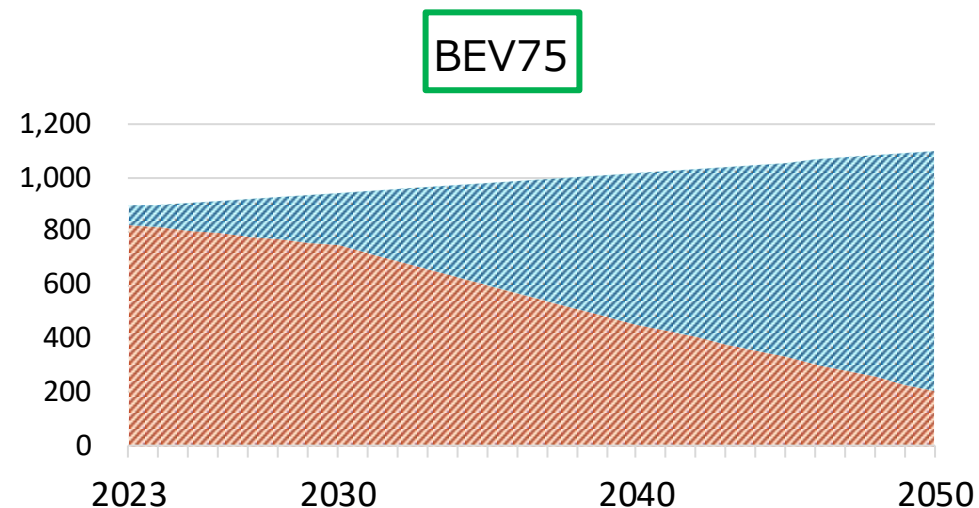
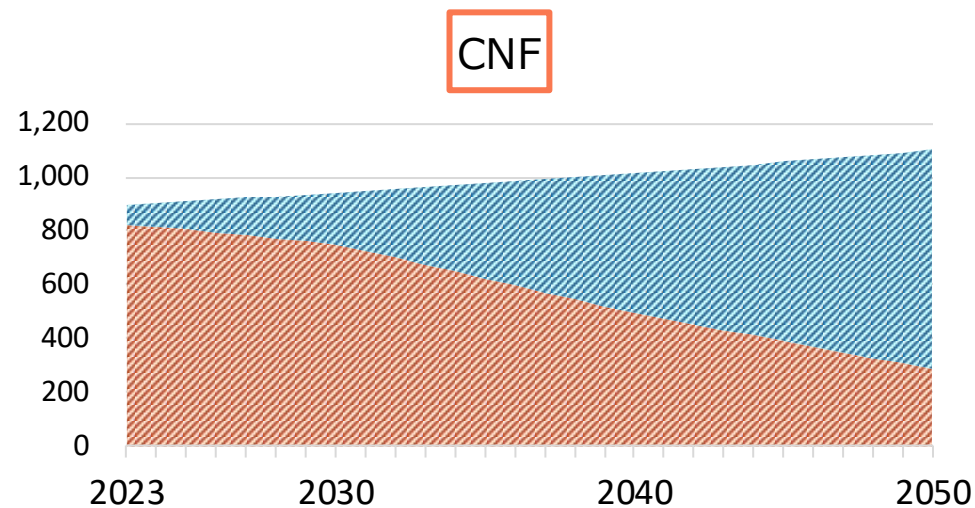
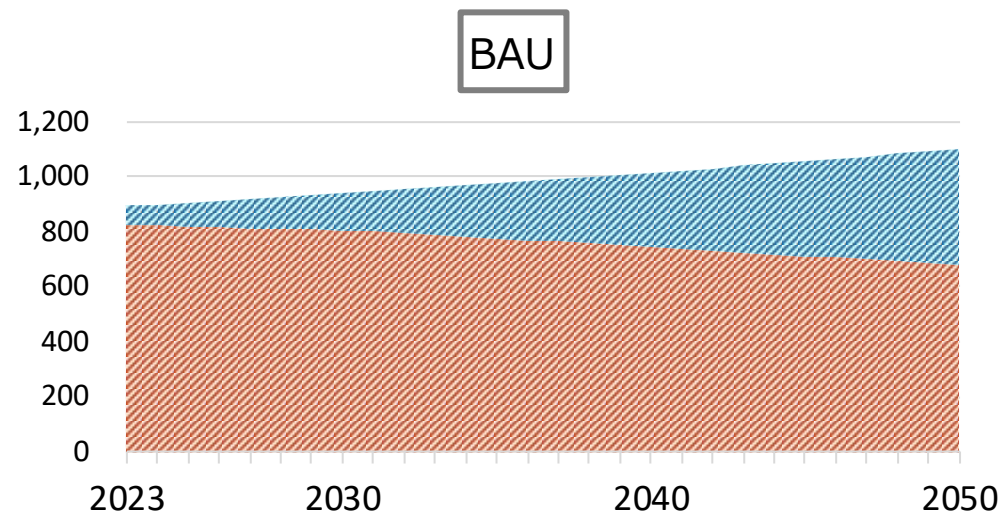
（単位：百万台）



* 実績値はEDMC/エネルギー・経済統計要覧2026年版を参照（前回分析(2022年版)はEDMC/エネルギー・経済統計要覧2022年版を参照）
 将来値は、保有台数の合計は[\[IEEJ Outlook 2026\] \(2025年発表\)](#)、パワートレインの構成は自工会のシナリオを基に推計

世界の保有構成（二輪車）

（単位：百万台）

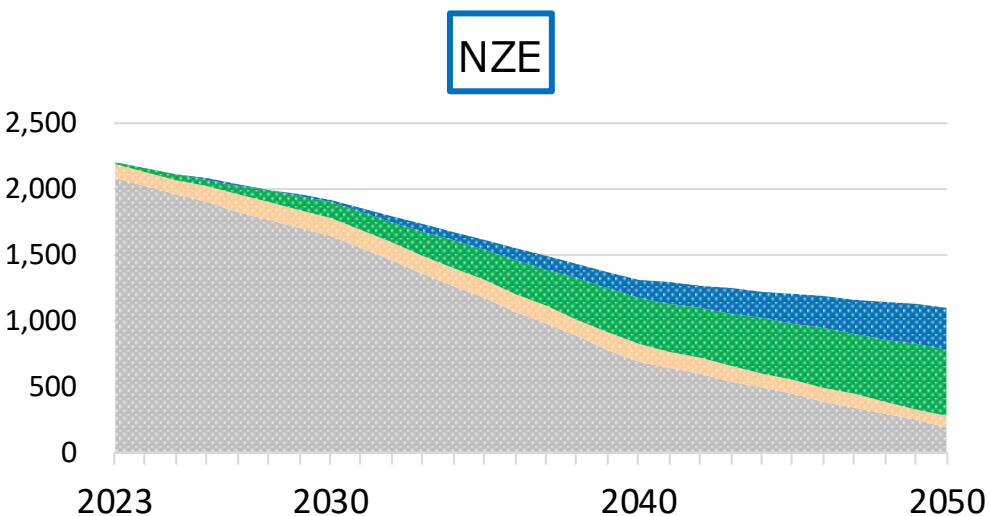
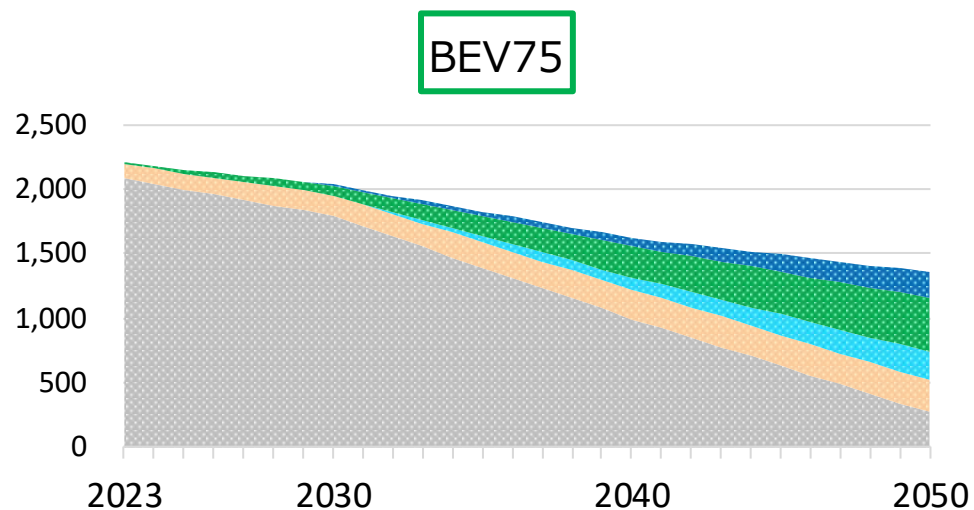
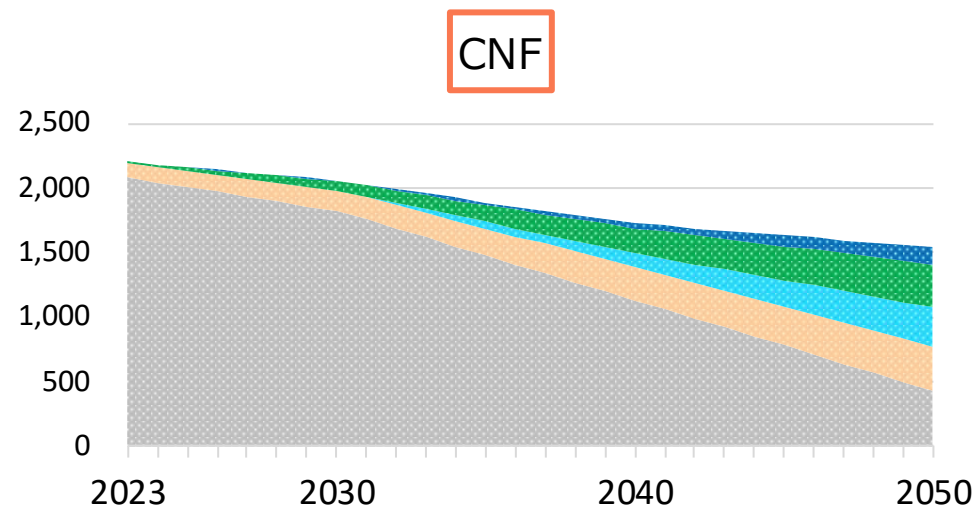
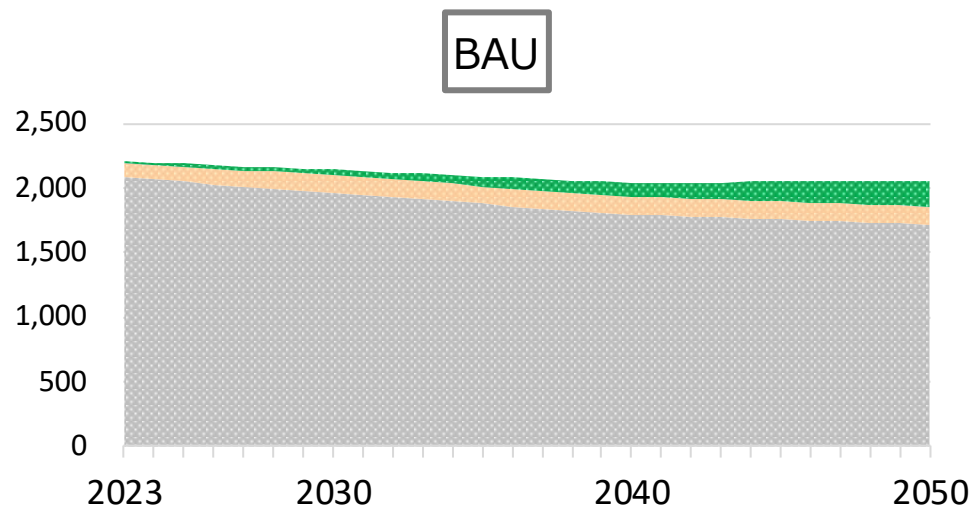


● BEV
● ICE

* 実績値は[The IRF World Road Statistics](#)および各国統計等よりEDMC推計、将来値は保有台数の合計はEDMC推計、パワートレインの構成は自工会のシナリオを基にEDMC推計

世界の燃料構成（合計）

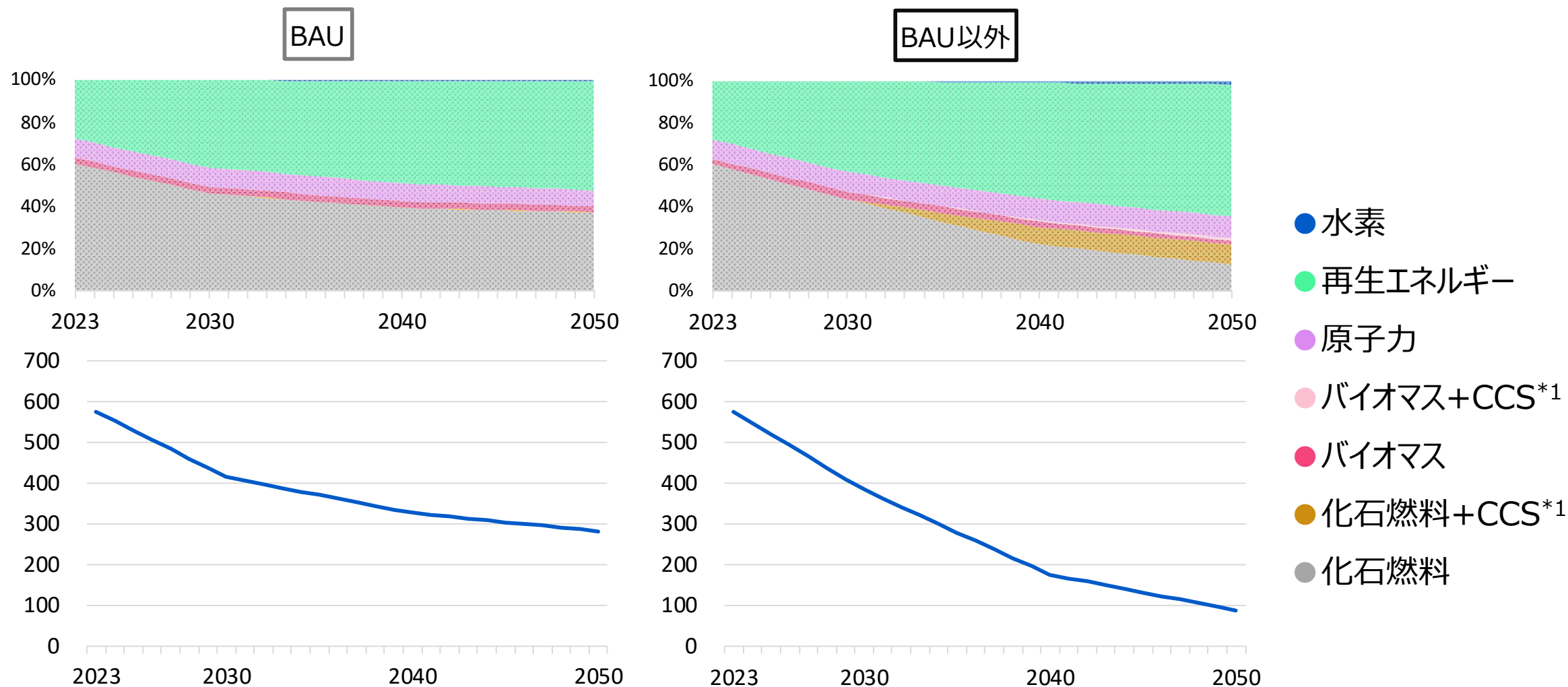
（単位：Mtoe）



- 水素
- 電力
- 合成燃料
- バイオ燃料
- 石油

* 実績値はEDMC推計、将来値は自工会のシナリオを基にEDMC推計

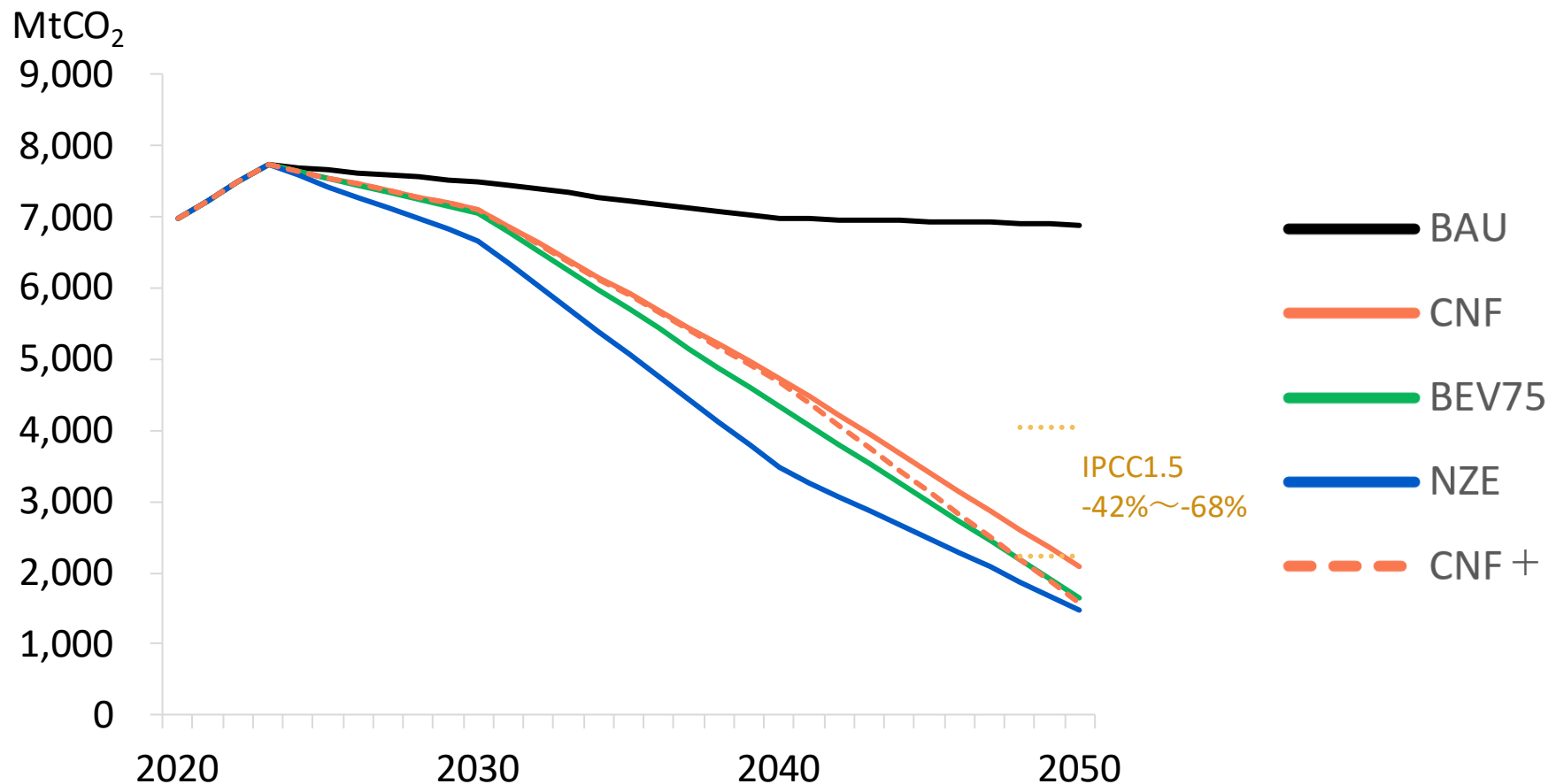
世界の電源構成



* 実績値は[IEA World Energy Balances](#)、将来値は[「IEEJ Outlook 2026」\(2025年発表\)](#)を基に推計

*1 CCS(Carbon Capture and Storage)は、発電所や工場等から排出されるCO2を回収し、地中等へ貯留することでCO2排出量削減に活用する技術

世界のCO₂排出量



* 「IPCC1.5 -42%~-68%」は、IPCC 第3作業部会-第6次評価報告書 Chapter10で示された、世界の気温上昇を1.5℃以内または限られた超過に抑えるシナリオにおいて、世界の運輸部門のCO₂排出量が、2050年には2020年比で概ね42~68%減少するシナリオ(4分位範囲)のこと。この範囲内もしくは下回っている場合は、IPCC1.5℃目標に整合的と判断できる水準と言える

CO₂排出量は2020年比で70%~79%減
(世界全体の2050年予測において、いずれの想定シナリオでもIPCCの1.5℃シナリオの目標水準へ到達可能)